

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



SSKP

いずみ

No.

166

2012年9月

* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部
泉の家

〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463
izumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/izumi/

日の出舎
就労日の出舎

〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205
info@hinodesha.org
http://hinodesha.org/

グループホーム
いずみ

〒197-0825 あきる野市雨間322-12
☎042(550)9083
bwz12948@nifty.com

岡本福祉
作業ホーム

〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp
http://izumikai.jp/okamoto/

岡本ホーム
玉堤分場

〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
tamatumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/tamatumi/



園芸作業でゴーヤを植えています。たくさん育ちますように… (岡本ホーム)

『叱る勇氣』

理事長 橋向敏治



福祉の事業は人を支援すること最大の目的にしております。つまり人の命を支える使命があります。障がいを持つ人達を守る『虐待防止法』が本年10月施行されます。

暴力(行為・言葉)や差別や脅しなどの命を脅かす行為・言葉が虐待です。人を思いやり祈る気持ちには、目に見えません。言葉や論理といった目に見えるものから『目に見えないもの』へ。豊かさや学歴や外見という物差しで行動しているうち、生活に真の潤いが失われていくようです。相手を思い、いたわる気持ち、目に見えないものを豊かにする、相手を思いやる社会が求められます。

怒ることは誰にも生じる感情ですが、最近叱ることのできない、又は下手な大人が多いと思います。『叱る』と『怒る』のは随分違う。怒る時とはにかく怒りたい感情が先にたち、一方通行に成りがちです。怒る本人が次第に昂揚して、声が大きく言葉も荒くなり、相手に理不尽な矢が降り注ぐ。こちらに落ち度があっても、怒りにまかせた正論だと何度も繰り返されれば、壊れたレコードみたいに聞こえてきて不満と屈折した感情が残る、それも哀しい。

『叱る』ときの根底には、相手を伸ばしてやろうという愛情がある。相手に責任の重大さをさとし、反省と勇気を与えたいと思います。利用する方々の生きがいを少しでも支えられる施設運営を目指したいと存じます。改選期にあたり法人の陣容も新たにしました。皆様のご支援・ご協力を今後ともお願い申し上げます。

事業活動収支計算書

日の出舎・就労日の出舎（合算）（単位：円）	
就労支援事業活動収入	
就労継続 B 型	6,380,087
就労支援事業活動収入計	6,380,087
就労支援事業支出	
就労継続 B 型工賃	4,263,287
当期材料費	802,393
その他の経費	1,314,407
就労支援事業活動支出計	6,380,087
福祉事業活動収入	
介護給付費収入	134,993,820
訓練費等給付費収入	37,480,300
特定障害者特別給付費収入	10,861,172
利用者負担金他収入	23,786,456
補助事業等収入	6,885,927
経常経費補助金収入	42,071,000
寄付金収入	445,416
雑収入	2,023,626
国庫補助等取崩額	8,502,618
福祉事業活動収入計	267,050,335
福祉事業活動支出	
人件費	113,430,367
事務費	55,200,048
事業費	40,871,579
減価償却費	15,693,126
引当金繰入	8,667,064
福祉事業活動支出計	233,862,184
事業活動外・特別収支収入	407,396,237
事業活動外・特別収支支出	451,112,176
当期活動収支差額	△ 10,527,788
前期繰越活動収支差額	225,386,799
当期末繰越活動収支差額	214,859,011
その他の積立金取崩額	69,652,934
次期繰越活動収支差額	284,511,945

		定員	現員
利用人数	施設入所	45 名	46 名
	生活介護	45 名	46 名
	就労継続 B 型	20 名	23 名
平均工賃	就労継続 B 型	15,674 円	

泉の家（合算）（単位：円）	
就労支援事業活動収入	
就労移行支援	1,360,550
就労継続 B 型	3,252,418
就労支援事業活動収入計	4,612,968
就労支援事業支出	
就労移行支援工賃	503,734
就労継続 B 型工賃	2,091,744
当期材料費	1,622,065
その他の経費	432,435
就労支援事業活動支出計	4,649,978
福祉事業活動収入	
介護給付費収入	35,110,373
訓練費等給付費収入	24,187,230
利用者負担金収入	2,076,162
補助事業等収入	65,135,258
寄付金収入	582,486
雑収入	2,121,013
借入金元金償還補助金収入	756,000
国庫補助等取崩額	12,887,403
福祉事業活動収入計	142,855,925
福祉事業活動支出	
人件費	63,627,096
事務費	45,427,518
事業費	7,218,140
減価償却費	17,350,587
引当金繰入	4,268,813
福祉事業活動支出計	137,892,154
事業活動外・特別収支収入	1,271,546
事業活動外・特別収支支出	1,258,000
当期活動収支差額	4,940,307
前期繰越活動収支差額	12,118,127
当期末繰越活動収支差額	17,058,434
その他の積立金取崩額	0
次期繰越活動収支差額	17,058,434

		定員	現員
利用人数	生活介護	20 名	16 名
	就労移行支援	6 名	3 名
	就労継続 B 型	25 名	17 名
平均工賃	就労移行支援	12,446 円	
	就労継続 B 型	12,676 円	

玉堤分場（合算）（単位：円）	
就労支援事業活動収入	
就労移行支援	699,878
就労継続 B 型	2,703,544
就労支援事業活動収入計	3,403,422
就労支援事業支出	
就労移行支援工賃	509,513
就労継続 B 型工賃	1,973,227
当期材料費	785,828
その他の経費	139,404
就労支援事業活動支出計	3,407,972
福祉事業活動収入	
補助事業等収入	48,282,044
寄付金収入	10,000
雑収入	31,680
福祉事業活動収入計	48,323,724
福祉事業活動支出	
人件費	26,661,990
事務費	13,876,273
事業費	6,451,758
減価償却費	192,372
引当金繰入	1,279,607
福祉事業活動支出計	48,462,000
事業活動外・特別収支収入	2,001
事業活動外・特別収支支出	0
当期活動収支差額	△ 136,275
前期繰越活動収支差額	4,400,959
当期末繰越活動収支差額	4,264,684
その他の積立金取崩額	0
次期繰越活動収支差額	4,264,684

		定員	現員
利用人数	就労移行支援	6 名	3 名
	就労継続 B 型	13 名	13 名
	就労移行支援	14,986 円	
平均工賃	就労継続 B 型	14,616 円	

岡本ホーム（合算）（単位：円）	
就労支援事業活動収入	
就労移行支援	0
就労継続 B 型	1,705,443
就労支援事業活動収入計	1,705,443
就労支援事業支出	
就労移行支援工賃	0
就労継続 B 型工賃	1,116,452
当期材料費	534,768
その他の経費	54,223
就労支援事業活動支出計	1,705,443
福祉事業活動収入	
補助事業等収入	119,169,306
寄付金収入	0
雑収入	1,480,140
福祉事業活動収入計	120,649,446
福祉事業活動支出	
人件費	74,512,164
事務費	16,931,671
事業費	11,791,492
減価償却費	1,157,400
引当金繰入	5,980,507
福祉事業活動支出計	110,373,234
事業活動外・特別収支収入	0
事業活動外・特別収支支出	6,728,000
当期活動収支差額	3,548,212
前期繰越活動収支差額	5,158,165
当期末繰越活動収支差額	8,706,377
その他の積立金取崩額	0
次期繰越活動収支差額	8,706,377

		定員	現員
利用人数	生活介護	24 名	29 名
	就労移行支援	6 名	0 名
	就労継続 B 型	10 名	9 名
平均工賃	就労移行支援	0 円	
	就労継続 B 型	10,597 円	

2011 年度財務分析

財務指標	視点	決算数値 入力結果	分析上の留意点
<短期安定性>流動比率	短期安定性をみる指標	686.0%	100%を下回る場合は、資金繰りが悪化している状態。400%以上が望ましい。
<長期安定性>純資産比率	長期安定性をみる指標	89.8%	50%を下回ると、自己資本よりも負債が上回っている状態。
<コスト合理性>人件費率	コスト合理性をみる指標	53.0%	
<コスト合理性>委託費率	コスト合理性をみる指標	18.1%	
人件費率＋委託費率	コスト合理性をみる指標	71.1%	85%を上回ると、当期活動収支差額が恒常的にマイナスになる傾向。
<長期安定性>固定長期適合率	長期安定性をみる指標	78.6%	固定資産は、純資産や固定負債で調達し、100%以下が通常。
<収益性>経常活動収支差額率	収益性をみる指標	8.0%	マイナスが複数年度に渡る場合は、要原因把握。
<借入の割合>事業活動収入対借入金比率		0.0%	
労働分配率	コスト合理性をみる指標	79.3%	100%以上になると、限界利益以上の人件費を支出。

本部（単位：円）	
福祉事業活動収入	
寄付金収入	3,000,000
雑収入	700,100
その他	0
福祉事業活動収入計	3,700,100
福祉事業活動支出	
人件費	418,590
事務費	3,147,579
事業費	0
福祉事業活動支出計	3,566,169
事業活動外・特別収支収入	6,741,842
当期活動収支差額	6,875,773
前期繰越活動収支差額	34,690,719
当期末繰越活動収支差額	41,566,492
その他の積立金積立額	3,000,000
次期繰越活動収支差額	38,566,492

グループホームいずみ（単位：円）	
福祉事業活動収入	
利用料収入	3,575,672
経常補助金収入	13,965,275
福祉事業活動収入計	17,540,947
福祉事業活動支出	
人件費	0
事務費	11,496,842
事業費	6,044,648
福祉事業活動支出計	17,541,490
事業活動外・特別収支収入	543
事業活動外・特別収支支出	0
当期活動収支差額	0
前期繰越活動収支差額	250,000
当期末繰越活動収支差額	250,000
次期繰越活動収支差額	250,000

		定員	現員
利用人数	就労移行支援	4 名	4 名

貸借対照表（法人合計）

資産の部			負債の部		
勘定科目	内訳	合計	勘定科目	内訳	合計
流動資産		338,794,839 (18,409,314増)	流動負債		49,384,957
現金預金	291,926,256		買掛金	30,975	
売掛金	1,550,996		未払金	29,706,331	
商品・製品	423,012		預り金	2,386,184	
原材料	82,204		仮受金	0	
立替金	42,703,665		賞与引当金	17,261,467	
前払金	21,790		固定負債		94,027,306
その他の流動資産	2,086,916		設備資金借入金	72,000,000	
	0		退職給与引当金	22,027,306	
			その他の固定負債	0	
固定資産		1,062,261,197 (307,818,320増)	負債の部合計		143,412,263 (3,385,707増)
基本財産			純資産の部		
建物	280,767,828		基本金		167,037,230
泉の家	250,525,705		国庫補助金等特別積立金		611,252,463
日の出舎	30,242,123		その他の積立金		125,996,148
土地	45,126,940		移行時特別積立金	0	
泉の家	5,050,500		授産移行時特別積立金	0	
日の出舎	40,076,440		その他の積立金	125,996,148	
その他の固定資産	736,366,429		建設積立金	34,545,560	
建物	445,360,351		施設整備積立金	91,450,588	
構築物	55,610,236		次期繰越活動収支差額		353,357,932
機械及び装置	724,880		次期繰越活動収支差額	353,357,932	
車両運搬具	4,619,910		(うち当期活動収支差額)	4,700,229	
器具及び備品	79,661,383		純資産の部合計		1,257,643,773 (322,841,927増)
建設仮勘定	0		負債・純資産合計		1,401,056,036 (326,227,634増)
権利	253,208				
移行時特別積立金	0				
その他積立預金	125,996,148				
その他の固定資産	24,140,313				
資産の部合計		1,401,056,036 (326,227,634増)			

關注	当年度末	前年度末
減価償却費の累計額	110,499,163円	279,847,543円

「事業と人財の基盤づくり」

関係各位のご支援の下進めてまいりました日の出舎改築工事が2012年1月20日無事竣工しました。改めて御礼申し上げます。

国が進めていた「障がい者総合福祉法」の骨格提言が2011年8月に発表され準備をしていた矢先、2012年2月に厚労省から「障がい者総合支援法」案が示され、障がい者各団体からの疑問視が多い中、総合福祉法策定を断念し、総合支援法が2013年4月から施行される運びとなりました。今後もその成行に注視が必要です。

この様な福祉情勢が混沌としている中、法人として以下の取り組みを行いました。

① 経営理念・方針

・コンサルタントの助言を得ながら諸規程検討委員会にて人財育成を目的とした人事考課制度を見直し、2012年度から実施できる様準備をしました。

・都有地利用の大型総合福祉事業プロジェクト参加希望者の要請を受け、障がい分野に関する提案内容を事業研究会でまとめました。

② 各施設の事業

・泉の家は、建替え2年目。「施設から地域へ」を目標に、外へ出かけての活動とボランティア等外部の方との活動を行い、また、利用希望者等の実習も積極的に受け入れ、36名の利用者数になりました。

・日の出舎、就労日の出舎は、同一敷地内での建替え工事における「安全」を目標に行いましたが、利用者や地域の方の安全が守られ、工事業者や関係者の方の努力により計画通り工事を進める事ができました。

・岡本ホームは、地域の多様なニーズと利用者本位のサービスを実施すべく、障がいの重度化対策の環として、介助方法の見直しと活動中リラックスできる機会を設けました。

・玉堤分場は、利用者の個別ニーズに合わせた会社見学や、利用者が他者と関わる機会を活動に取り入れた出張教室等を実施しました。

・グループホームいずみは、震災を契機に、その状況に応じた生活ができる様、防災意識の向上に努めました。

③ 地域とのつながり

・いずみ友の会と共に、10月にはチャリティコンサートと講演会、2012年3月には、成城ロータリークラブの協力も得て、

「第2回成城音楽祭」を開催しました。

・地域自治体や関係団体の会議、地域行事に積極的に参加し、地域ニーズの把握と地域福祉の情報動向収集を行いました。

④ 財務

・新会計基準移行を控え、各施設の財務の安定化を図るため、利用者増と利用率の安定に努めました。

・震災後の社会情勢から、節電に努める等、消費に係るランニングコストの見直しを図りました。

・同項決算報告にある通り、財務状況は適正な状態にあることを報告いたします。

⑤ 災害対策

・災害時やその後の対応について、地域により異なることから、各施設での対応を行う事で、事故もなく無事過ごす事ができました。今後は法人としての体制整備が急がれます。

⑥ 被災地支援

・東日本大震災被災地の支援については、就労系被災施設の製品販売での協力をしました。

工賃向上に向けた取り組み

泉会の各施設での工賃向上に向けた取り組みについてご紹介いたします。今後も多くの方からのご支援を頂きながら工賃向上に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

就労日の出舎

就労日の出舎では、工賃向上に向けた取り組みの一環として、祝日や一部土曜日も稼働日とし、作業時間を最大限確保しています。稼働日が多い分、製品をより多く作れることから、祝日を休業日としていた頃であれば納期に間に合わずお断りしたであろう、急ぎの注文や大量の注文にも応じることができ、受注量の確保・増収に繋がっています。

受託事業では、一旦休止していた企業からの下請け作業を再開し、収入確保に努めています。また、事業所内のトイレ・廊下等の清掃作業を行なうことで、清掃技術やマナーを学ぶと共に工賃向上を目指しています。



下請け作業を行っています

泉の家

工賃向上に向け、二つの仕事を丁寧に行っています。（山本 美保）

全国事業所で、作業の月額平均工賃の底上げのため、工賃向上5か年計画として、目標工賃を示し計画的に取り組みをしてきています。泉の家では本年4月から、3か年の工賃向上計画を作成しています。

取り組みとして、下請作業の再確認を行い、作業工程や効率・利益を検討し、受注を整理し新たに開拓をしました。その結果、精度を上げることができ、企業の信頼を得ることで、受注量も増やすことができました。また、自主生産品の主力製品として、犬用クッキーを作成しました。開発段階からボランティアなどの協力を得て、7割以上の利益率が得られるよう、コストにも対応しました。販路でも、ボランティア、各種のネットワークの協力を得ています。販売会にも積極的に参加して売り上げ収入の向上に努めています。



チームワークでがんばってます！

世田谷区から受けている、放置自転車リサイクル事業についても、工賃向上に繋がっています。
今年度の月額平均工賃額は、15,500円を目標としています。利用者の方も受け入れ、増員しながらの達成計画となりますが、取り組んでいきます。（金子 誠）



（金子 誠）

玉堤分場

昨年度は、次の点を重点的に取り組みました。

① 販売機会の確保

製品販売の機会が増えないことには工賃向上に繋がりません。しかし、昨年度は震災の影響により、上半期の販売会中止が相次ぎ、前年度より販売機会が減少しました。そのため繁忙期はいつも以上の注文に比べ、新規のお客様を獲得し今回の注文に繋げる事や販売機会を増やすように努めました。

② 生産効率アップ

繁忙期に可能受注量以上を請け



バター不足にも負けないぞ!!

（伊達 紫瑞）

る為には、生産量を増やす必要があります。その為には、作業の手順を細分化し、利用者一人一人にかかる負担を軽減しつつ、質・量の向上を図りました。

この2点を重点的に取り組んだ事で、利用者に皆で乗り切ろうという一体感と、達成感を感じてもらった事ができたのではないかと思います。その結果、利用者の工賃向上への意識も高まり、これこそ工賃向上には大切なことだと思いました。

岡本ホーム

平均工賃は2009年度から僅かずつですが増加してきました。2012年度は7月現在平均6467円で目標工賃を下回っています。原因としては①官公需受託作業の子宮がん検診用のコンテナキットの作成が今年度まだ始まっていないこと②ライオンズクラブの広報誌封入作業（他施設で行なう）に下請けの納期や参加者のやりくりがつかないこと等で6月しか参加出来ていないことが考えられます。

一方下請けで行っている自動車部品のトレー並べは震災後発注が止まった時期がありましたが、現在は順調に受注できています。この作業は区内のネットワークから紹介いただいたものです。

以上の事から工賃アップの為に現在考えられるのはネットワーク等の活用で作業受注に結びつけること、その為にも納期を守る確実な作業により取引先との信頼を深めていくことが大切だと思っています。（国生 いづみ）

〈各事業所 過去3年間の工賃推移（単位：円）〉

	2011年度			2010年度			2009年度		
	工賃総額	平均工賃	目標工賃	工賃総額	平均工賃	目標工賃	工賃総額	平均工賃	目標工賃
就労日の出舎	4,263,287	15,674	13,500	2,766,653	10,134	12,500	2,973,231	11,392	6,500
泉の家	2,091,548	12,676	14,000	1,359,758	12,708	10,000	1,176,887	9,123	10,210
岡本ホーム	1,144,505	10,597	9,100	1,022,751	9,649	9,000	983,522	9,107	9,778
玉堤分場	1,973,227	14,616	12,550	1,894,487	14,352	12,500	1,585,419	15,543	12,500

泉の家だより

「泊旅行」

新しい施設になり、初めての「泊旅行」です。「泊旅行」は、利用者の方々からの要望が多く、3年目にして念願叶っての旅行となりました。日程は、5月29日～30日と6月8日～9日で就労継続B型の利用者の方と生活介護の利用者の方が2グループに分かれて行きました。

宿泊先は、千葉県にある、館山シーサイドホテルでした。温泉につかりながら、ゆったりと海を眺めることもできました。入浴後には、海辺の散歩や近くのイオンモールでプリクラを撮ったり、普段一緒に活動することがないB型の利用者と生活介護の利用者の方々と楽しみました。夕飯は、食べきれない程の刺身やてんぷらなどを美味しく頂きました。皆で食べる夕飯は、お話ししたり、歌ったり踊ったりと大盛り上がりでした。

三井アウトレットモールは、オープンしたばかりということもあり、とても混雑していました。フードコートでは各店舗に行列ができており、購入に時間がかかりましたが、様々なメニューから、自由を選び楽しみました。

今回の「泊旅行」で、宿泊を共にしたこと、普段の活動中に見ることのできない利用者の方の、新たな一面を見ることができました。旅行後のアンケートにも、協力していただき、多くの意見などをいただきました。来年度の旅行に向けて意見を反映できるようにしていきます。

（石黒 貴之）



ホテルでの夕食！

日の出舎だより

「ツバメの味方」

「こらっ！ツバメを脅かすんじゃない。怖がっちゃうだろ」ツバメがやってきて巣作りをするこの時期になると、この日の出舎ではどこかしらで怒り声が聞こえてくる。日の出舎のツバメの味方の利用者の平井さんである。私はどうしてこうまでツバメが好きなのか興味をわき平井さんに聞いてみる事にしました。

た。

平井さんは昭和57年入所ですが初めてからツバメが好きだったのですか？

「入所した当初は全く興味なかったよ。騒がしいなあ、フンが汚ねえなあって思ってたよ」

好きになるきっかけは何かあったのですか？

「巣作りをしている所を見たんだよ。」



巣立ち前のヒナ

かったです。

お別れはさみしいけれど、楽しい思い出ができました。

そして、私のお客さまをいずみのみんなが「いらしゃい」と言ってるのを見て、みんなで楽しくお話したのも嬉しかったです。こんな生活ができる「いずみ」が私は大好きです。ずっといたいんです。



岡本だより

「新入職員紹介」

笑顔で頑張ります！

岡本ホームに入職した3人の新入職員を紹介させていただきます。

『3月より岡本福祉作業ホームに入職しました。利用者の皆さんが施設を通して様々な体験ができるよう支援していきたいと思っています。よろしくお願いします。』（細田 準矢）

『4月から入職しました。以前は老人ホームで事務員をしていました。現場での仕事は今回が初めてになりますが、日々勉強を重ねていき利用者みなさんにとってベストな支援が出来るようになりたいと思います。』

2羽が協力して作っててちっちゃいのに上手く作るもんだなあ。そしてから子供が産まれて子育てをして飛ぶ練習をして巣立つて行って、何だか感動して。次の年もまた次の年もって気づいたら好きになっちゃったなあ」

それで追い払ったりいじめないように見守っているんですね。

「そうだよ。追い払ったりいじめたらいけないよ」

建て替えてツバメが戻ってくるから心配ではなかったですか？

「ツバメは元の場所を覚えてるから建て替わっても戻ってくると思ってたよ。でもちよつと心配だった。戻ってきたから安心したよ。」

今後もツバメを見守っていくのですか？

「今後も見守っていくよ。自分がよく知っているから。」

どうやら今後も平井さんに教えられることが多そうですね。（高橋 洋郎）



ツバメを見守る平井さん

分場だより

「栄養教室」

皆さんは食事の時に、どれぐらい噛んでいますか？噛む事の大切をテーマに栄養教室を実施しました。

「食物の消化や吸収を助けます」「唾液の分泌を促進します」「食べ過ぎを抑えます」「脳の働きを刺激します」「食物の美味しさがよくわかります」などの話を併せて小さなおにぎりを使って「これを30回噛んでみましょう」



良く噛むのは意外と大変？



栄養ポスター

「うー」と、実際に体験してもらったことにしました。普段噛む回数を意識してないため「30回って長いなあ」という声。そして、味付けをしていないおにぎりのお米の甘みについても感じてもらいました。

また、尾山台中学校美術部の生徒さんに作成していただいた色彩の華やかな栄養ポスターを食堂内に飾ることで「早食いはダメ！」という啓蒙に役買っています。

（岩上 恵美）



左から内井職員、陶山職員、細田職員
撮影：川口伸也さん

『岡本ホームに来てから2カ月が過ぎました。まだまだ失敗ばかりしていますが気を引き締めて頑張っていこうと思っています。利用者の皆さんの目線に立ち細かいことまで気がつくようにしたいです。』（内井 万起子）

施設の職員が異動や退職などで職務経験のある職員が少なく、中、新しい支援の担い手を育ていくことは必要です。3人とも利用者との交流を積極的に行い、日々学んでいる姿を目にします。前向きに頑張っている新人職員から職務経験のある職員も初心に戻り頑張っていく気持ちになります。これからも現場での様々な経験を積み頑張っていきます。3人の活躍にご期待下さい。

（有馬 恵子）

（陶山 智恵）

GHIいずみだより

「お友達に手作りの料理を作りました」

鈴木 由夏さん

私が「いずみ」に来る前にいたグループホームの友達が青森の施設に行く事になりました。

私のいる「いずみ」に入りたいと言っていたけれど空いていないので、残念だけれど向こうの施設も良いところだから行くのだと言っていました。ずっと前からの約束を6月の生け花を習う日にやっと実行することが出来ました。

お買い物や準備は大変だったけれど、おむすびもサラダもおいしい！言っ



みんなで記念の1枚

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一二年九月一日発行（S K P 通巻五一四四号）



上遠恵子

ゆる生命のための警告でした。こうして多くの人が環境問題に関心を持つようになりしました。

第二次世界大戦が終わった1945年以后、科学技術はめざ

近頃、しばしばエコという言葉や文字を聞いたり見たりします。

エコの語源は、生き物とまわりの環境との関係を研究する生態学（エコロジー）という生物学の分野の名称で一般にはあまり使われない言葉でした。

1962年に「殺虫剤のような化学物質を無慮に撒き続けていると、自然界の生き物たちが死に絶えてしまい、やがて春になっても鳥もさえずらずミツバチの羽音も聞こえない沈黙した春がくるかもしれない」と警鐘を鳴らした本が出版されました。本の題名は「沈黙の春」著者はアメリカの海洋生物学者でレイチエルカーソンという女性です。鳥や虫に起きることは、同じく自然界の一員である人間にも影響があることです。この本は地球上のあら

ましい発展を遂げ、私たちは便利さと豊かさを手にすることができました。

しかし、そうした便利さ豊かさを享受できたのは先進国と言われる20パーセントの国であって、残る80パーセントの発展途上国では、貧困の中にあつたことを忘れてはならないと思うのですが、先進国の一員になっていた日本で、私たちの生活は豊かになってきました。それにともない環境破壊、環境汚染、公害病などの健康被害などが顕在化してきました。その過程でエコロジーは、自然保護、公害反対などの環境運動をあらわす言葉として広められて行きました。とくに東日本大震災、福島原発の重大事故以後、快適さ便利さを追いつめる生活を考え直す流れが生まれました。「沈黙の春」の最終章

にはこう書いてあります。

「私たちは、いま分かれ道にいる。どちらの道を選ぶべきかいまさら迷うまでもない。ながいあいだ旅をしてきた道はすばらしい高速道路で、すごいスピードに酔うこともできるが、私たちは騙されているのだ。その行き着く先は禍いであり破滅だ。もう一つの道は、あまり（人も行かない）が、この分かれ道を行くときにこそ、わたしたちの住んでいるこの地球の安全を守れる。最後の唯一のチャンスがあるとさえ言う。どちらの道をとるか。きめなければならぬのは私たちなのだ。」

私は、別の道を歩むために、しっかりと自分の生き方に確信をもって日常生活を点検し省エネ、省資源、自然を大切にするなど、具体的に考えて実行して行きたいと考えています。



製品紹介 就労日の出舎

「レーザー加工機」

就労日の出舎ではレーザー加工機を用いて様々な加工を行っています。初代加工機は10年以上前に購入し、使用し続けてきましたが、昨年の11月に寿命を迎え、新たな加工機を導入しました。

この加工機では木材・アクリル・金属等のカッティング、彫刻が出来ます。日の出舎での一部自主製品にも使用されていますが、主にノベルティグッズ等特注品の製作で活躍しています。その他、表札・木製感謝状・キーホルダー・ストラップ等、様々なものを作ることが出来ますので、加工のご要望がありましたら「就労日の出舎」までご連絡くださいませ！

【連絡先】

就労日の出舎 加藤圭介
042-597-11451



「様々な加工が出来ます」